

小倉工業北辰会報

編集兼発行
北九州市小倉北区
白萩町 6 - 1
福岡県立小倉工業高校
北辰会事務局
TEL 093(571)1124
FAX 093(583)4924



日本の未来を担う 「倉工生」に期待

教頭 石津 勝幸

陽春の候、小倉工業高校北辰会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成二十八年度の人事異動によりまして、四月一日付けにて小山繁教頭先生（本年度より若松高校校長）の後任として、福岡工業高校（定時制）より転任して参りました。石津勝幸と申します。教科は工業、福津市に居を構えております。福岡工業の前は、長らく戸畑工業高校で教鞭をとっておりまして、この度ご縁をいただきまして、百十七周年の栄えある歴史と伝統を誇り、日本一の工業高校を目指す本校に赴任し、その重責に身の引き締まる思いでおります。

倉工生と初めての対面となった新任式・始業式での生徒の落ち着いた所作は、多くの卒業生の方々や諸先輩方が築かれた伝統の素晴らしさと重さを感じたものでした。また、翌日の入学式は、肅然とした雰囲気の中にも、吹奏楽部の華やかで、そして心温まるパフォーマンスの中で挙行され、多くの学校の中から倉工を選んで良かったという新入生や保護者の思いや、「真理探究」「質実剛健」「勤労努力」の校訓のもと、新入生が本校の輝かしい伝統を受け継ぎ、将来日本の未来を担いリードする若者に成長していく姿を確信いたしました。翌週からは、先輩による新入生指導が始まりました。声を

を持ち、全力で後輩を指導する先輩の姿、その指導に掛けそうになりながらも歯を食いしばってぐらいつき、応えようとする新入生の姿、そこには男子女子という区別は存在せず、一日も早く「倉工生」になってほしい、なりたという純粹で一心不乱な姿があるだけで、ただただ感動するしかありませんでした。

さて、今日、これからの未来を予想することは極めて困難な時代になってきております。経済のグローバル化や科学技術、とりわけ情報通信技術の発展は目覚ましく、しかもそのスピードは想定よりはるかに速いもので、日本の国際社会との競争は激しさを増すばかりです。このように、世の中の様々な課題が錯綜し複雑化していく中で、二万二千二百余名の卒業生の方々の各界でのご活躍や、OB講話、教育振興基金等の母校への惜しみない人的、物的ご支援は、在校生や教職員にとりまして大変心強く且つ欠かすことのできないものと承知しております。倉工生のため、倉工の発展のため、大変微力ではございますが、誠心誠意職責を果たす所存でございます。前任の小山校長先生と同様のご支援、ご厚誼を賜りますようお願いいたしますとともに、北辰会の今後さらなるご発展を心より祈念し転任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年四月一日小倉工業高等学校の教頭として赴任し、本年四月一日若松高等学校に転任いたしました小山繁（しげし）でございます。小倉工業在任中は、同窓会長麓原裕明様をはじめ同窓生の皆様に一方ならぬご厚情を賜り、心から感謝申し上げる次第です。わずか一年ではありましたが、輝かしい歴史と伝統を誇る小倉工業高等学校で勤務できたことは、私の人生の財産となり、今は誇らしい気持ちが私の心を満たしております。何よりも各地区同窓会に出席させていただいた折に、多くの同窓生の皆様との出会いとご支援をいただきましたことは私にとって今後の人生の支えともなりました。さらにこの一年間、種々の相談に丁寧に応じてくださり解決に導いてくださった坂田事務局長様にも、この場を借りて厚く御礼申し上げます。学校においては、入学式をはじめとして、すべての学校行事において格調高い伝統が引き継がれていることを目の当たりにして、そのたびに身の引き締まる思いをして参りました。毎日、白萩の丘の威風堂々たる門をくぐるたびに教頭としての職責の重さを強く感じて過ごしたことも今となっては尊い経験となりました。この一年間、全力を尽くしてきたつもりではあります。行き届かぬ点が多々あったと思います。高い志を持った優秀な職員に支えられ微力ながら倉工の前進に関わることができたのではないかと思います。



倉工とともに 前教頭 小山 繁

例えば、「アメリカ・カナダ高校生海外研修」や「日本の次世代リーダー養成塾」といった日本各地のトップ校の生徒が参加する研修への参加に物心両面の支援を頂いていることを始めとして、教育活動全般のあらゆる場面において経済的・人的ご支援を頂いていることは、国内に数ある伝統校の中でも例を見ないレベルであらうかと思われまます。これは、倉工生の恵まれた教育環境を北辰会会員の皆様が支えており、このことが、倉工の伝統を支える最大の強みであると実感してきたところであります。

小倉工業高校がさらなる高みを目指し、真の日本一の工業高校になるためには、まだ実現すべき課題は多くあります。しかし、今の実力からすれば越えられない課題は存在しないような気がします。教職員、保護者、同窓会が力を合わせて生徒育成に取り組めば必ずや実現するものと確信しております。

さて、私事ではあります。冒頭に申し上げましたとおり、平成二十八年度四月一日をもって、県立若松高校校長の任を命ぜられ、同日着任いたしました。若松高校も百四年の歴史を有する学校であり、私の出身校でもあります。多くの課題が山積しており、一つずつもつれたひもをほぐすように解決していかなければなりません。その糸口は小倉工業高校に在職した経験にあるような気がします。創立百十七年目を迎え、未だ揺るぎない歴史と伝統を誇る学校として君臨する小倉工業高校の存在を本手として、学校経営に携わって参らうと思います。今後は勤務校である若松高校の発展のため全教職員一丸となって、教育の質の向上に努めたいと思います。今後ともこれまで同様のご鞭撻をお願い申し上げます。今後は、小倉工業高校のさらなる発展を祈念いたしまして、北辰会の皆様へのお別れのご挨拶とさせていただきます。

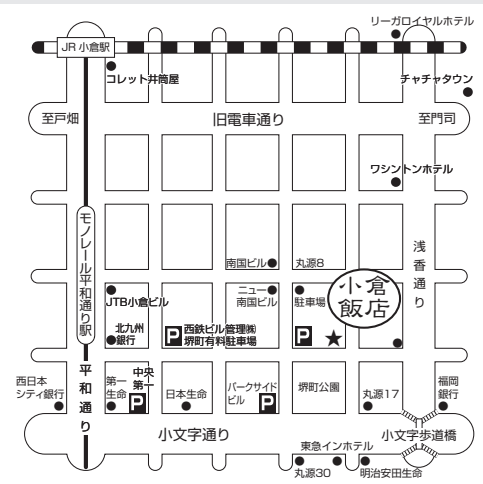
北辰会の皆様、本当にありがとうございました。

平成28年度 北辰会総会

（当番幹事 平成5年卒）
（当番幹事 平成17年卒）

日時 平成28年5月29日（日）
場所 小倉飯店
北九州市小倉北区堺町1-8-14
TEL (093) 521-8631
時間 ○受付 14時から
○総会 15時から
○懇親会 16時30分から
会費 ￥5,000

懇親会に先立ち、^{がきょうかい}雅京会の皆様による、^{しょう ひちりき}笙、^{りゅうてき}筆簫、^{りゅうてき}龍笛等、古楽器が奏でる雅楽演奏を予定しています。ゆっくりお楽しみ下さい。



中部・東海地区の 懇親会開催！

昨年十二月十二日に、中部地区に在住する同窓有志による呼びかけで、中部・東海地区の懇親会が開催されました。本部の記録では開校以来、初めての懇親会です。平成元年電子卒の友尻圭さんを中心に、有志の方々の協力で準備が行われ、当日は昭和三十四年機械卒の南潤一さんを筆頭に昭和、平成の同窓二十二名と多くの皆さんに参加頂きました。

母校卒業後中部地区に就職され退職された方から、お勤めの企業で転勤をしながら中部地区で住居を構えられた方、転勤などで現在中部地区で仕事をされている方、若手では昨年卒業の同窓生まで参加され、思い出話に花を咲かせ、最近の卒業生による母校の様子に聞き入っていました。

懇親会が盛り上がる中で、中部・東海地区の懇親会を来年以降も続け、支部結成に持って行きたいと、話し合いました。また、今回の案内をした際にも多くの卒業生から、今年はいけないが来年は是非参加したいと、返信をもらっていますので、平成二十八年度は更に多くの参加が期待されます。これからの活動が楽しみです。今年の卒業生の就職では中部地区が一番多くなっています。

中部東海地区にお住まいの皆さん、お勤めの皆さん、今年の秋開催を予定されている懇親会には是非参加下さい。



訃報 田中誠一先生ご逝去



主幹教諭として、電子機械科で教鞭を執られ、進路指導領域・

進路指導主事として校務に携わっておられた田中誠一先生が、年末より病氣療養中でしたが、去る三月四日急逝されました。

田中先生は、田川工業高校で教職に就かれ、同校が近隣高校と統合する中で田川科学技術高校に移られ、生徒思いの工業教育の第一人者であり、ロボット教育では福岡県ナンバワンとして活躍、ロボット競技大会の全国大会に毎年出場させる指導を行ってきま

また、校長を支える重要な校務にも熱心な仕事ぶりは県下の範をなす先生でした。

平成二十年、小倉工業高校に赴任され、それまで全く実績の出なかった本校のロボット

競技の指導を行い全国ベスト4になる実績を挙げ、全国大会常連校として全国に小倉工業高校の名を挙げてきました。

電子機械科で教鞭を執る姿は、匠の教員としてテレビで放映されました。又、ものづくり活動の指導でも大きな実績を残しています。

主幹教諭として校務の要を務め、野球部長としても生徒の指導に当たってききました。

最後の仕事は進路指導主事として、昨年十一月九日には全ての生徒の就職を内定させ、県下一の実績を示しました。

田中誠一先生の素晴らしい教育活動は、日本を代表する教師として、平成二十三年度に文部科学大臣表彰を受けられました。

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、同窓の皆様にご報告申し上げます。合掌

学校だより

陸上部

第9回世界ユース陸上競技選手権大会
コロンビア・カリ
日本代表
男子400mH 銀メダル
藤井琉成(電子3年)



全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
和歌山県
男子400mH 4位
藤井琉成(電子3年)
男子110mH
藤井琉成(電子3年)
清水晃平(電気3年)

バレーボール部

平成27年度福岡県高等学校バレーボール新人大会北部ブロック予選会
小倉工業2-0京都
小倉工業2-0八幡工業
ベスト8入り確定

バスケットボール部

第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
小倉工業76-61八幡南
小倉工業101-59小倉南
小倉工業72-70青豊
(同県大会)
小倉工業85-90柳川

空手道部

平成27年度福岡県高等学校空手道新人大会
《男子個人組手》
第7位 九州大会出場
井上憂人(機系1年)

野球部

第97回全国高等学校野球選手権福岡大会北部予選
(一回戦)
小倉工業3-0福岡魁誠

(二回戦)
小倉工業8-4須恵
(三回戦)
小倉工業0-6九州国際大学付属

卓球部

全国高等学校総合体育大会卓球選手権大会
北部ブロック予選会
団体戦 5位 県大会出場

サッカー部

平成27年度福岡県高等学校サッカー新人大会北部ブロック予選会
(二回戦) Bパート
小倉工業1-0八幡
小倉工業1-1北筑
小倉工業2-1常磐
(決勝)
小倉工業0-5希望が丘 準優勝

ものづくり部

第14回高校生ものづくりコンテスト福岡県大会
電子回路組立部門
優勝 高松祥洋(電子3年)
九州大会3年連続出場
4位 井澤拓海(機械3年)
化学分析部門
優勝 林 領磨(工業化学3年)
2位 松本朋之(工業化学3年)

創立117年 体育大会を世界へ!

平成 28 年 10 月 8 日 (土) 開催予定の小倉工業高校体育大会をインターネットで生中継致します。

詳細は同窓会ホームページ、学校ホームページにてお知らせ致します。

同窓会 <http://hokusin.net/>
学 校 <http://kokura-th.fku.ed.jp/>

浅野 貴勇さん

110周年記念体育大会より業務用機材等の提供及び特別外部講師として本校放送部を指導しています。

平成10年本校電子科卒業後、日本無線株式会社に就職。その後、映像関係の専門学校へ進み撮影技術



会社に就職。現在は株式会社プラス01を設立し各種大型イベント等で活躍され、本年度もご協力を頂ける運びとなりました。

吹奏楽部定期演奏会へのご協力を感謝致します

平成二十八年二月三十一日(日)ウエル戸畑にて第十回吹奏楽部定期演奏会が開催されました。尚、次回は平成二十九年二月四日(土)には第十一回定期演奏会を開催予定です。出費多端な折り誠に恐縮ではございますが、今後とも北辰会の皆様にはご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



平成二十八年度創立記念日

OB記念講話

去る五月二日(月)創立記念日に昭和三十一年卒から平成二十六年卒までの卒業生二十名によるOB講話が行われました。生徒は講話の内容により事前のアンケートで希望する講話を申し込み興味深く受講しました。

北辰会費納入のお願い

新年度を迎え、今年も北辰会年会費二千円を納めていただく時期となりました。北辰会活動の礎である年会費は健全な運営を維持する上で最も重要なものであります。昨今の厳しい経済状況のなかで納入実績は残念な年々落ちこんで来ましたが、この状況は昭和二十年代から三十年代の卒業生が年々減少していく事が一番の原因と考えられます。同窓生が一つにまとまり、北辰会へのご理解とご協力を賜り、先輩諸氏が築いてきた倉工の伝統と歴史を守り、母校への支援を続けたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

教職員の異動

- 【退職】
- ▽田中 誠一(電子機械・主幹教諭)
 - ▽甲木 知(保健体育)
 - ▽森門多津子(家庭)
 - ▽原崎 真美(電子機械)
 - ▽下川美佐子(工業化学)
 - ▽木村美恵子(事務)
- 【転出】
- ▽小山 繁(教頭)：若松高校へ(校長)
 - ▽竹森 雅治(事務次長)：小倉商業高校へ
 - ▽野田 賀宣(数学・主幹教諭)：小倉東高校へ
 - ▽堀 秀暢(英語)：小倉南高校(定時)へ
 - ▽宮本 侑(英語)：姫浜中学校へ
 - ▽島筒 修治(機械)：戸畑工業高校へ
 - ▽池田 佳史(電子機械)：民間へ
 - ▽佐藤 博(電子)：佐賀大へ
 - ▽権藤 公章(工業化学)：戸畑工業高校へ
 - ▽新田 智通(工業化学)：戸畑工業高校へ

- ▽角 良浩(地理・公民)：菊田工業高校へ
- 【転入】
- ▽石津 勝幸(教頭)：福岡工業高校より
 - ▽飛松 智子(事務次長)：東筑高校より
 - ▽金子 和昭(事務)：京都高校より
 - ▽福本 孝子(事務)：北九州高校より
 - ▽坂本 順司(書道)：鳥取県立青谷高校より
 - ▽古市 隆司(数学)：北九州高校より
 - ▽小川 多恵(英語)：門司大翔館高校より
 - ▽吉原 隆(保健体育)：中間高校より
 - ▽須山 善胤(機械)：戸畑工業高校より
 - ▽金部 栄洋(機械)：戸畑工業高校より
 - ▽村上 雅俊(電子機械)：鞍手竜徳高校より
 - ▽早川 一樹(電子機械)：沼中学校より
 - ▽牟田 拳斗(電子機械)：新卒
 - ▽前田孝一郎(電気)：新規採用
 - ▽三井 鉄平(工業化学)：新卒
 - ▽岩倉 崇真(電子機械)：新潟県立新潟県央工業高校より
 - ▽佐藤 陽祐(地理・公民)：山口県立防府高校佐波分校より
 - ▽杉本 志穂(工業化学)：中学校事務より